

日が暮れるとともにステージには熱気があふれた



勝賀中学校吹奏楽部の演奏



熱気のステージ、食満喫

勝賀中校区初のワンフェス

令和5年11月11日に鶴市運動広場にて勝賀中校区合同フェスティバル（通称：ワンフェス）が開催されました。

このフェスティバルは、本格的にイベントが再開できることへの感謝の気持ちを込め、勝賀中学校PTAと、香西小学校、鬼無小学校、弦打小学校のPTA、子ども会の保護者が中心となり、事前に校区の子どもたちにアンケートを取り、子どもたちがやりたいことを形にしたフェスティバルで、初の試みとして実施しました。

広い敷地では輪投げや的当てが楽しめるブースやキッチンカー、屋台が並び、地域内外からたくさんの家族連れが訪れ、

長い行列が途切れることがないほど大にぎわいでした。

ステージでは勝賀中学校吹奏楽部の演奏、要望の多かった早食い大会やキッズダンスショー、最後には大抽選会を行いました。1等の賞品が発表されると会場から大きな歓声が沸き起こり、会場のボルテージも最高潮に達し、フィナーレは花火が上がり、子どもも大人もみんなが空を見上げて、秋の夜空の幻想的なひと時を過ごしました。

事前準備や当日の運営はとても大変でしたが、子どもたちや地域の方が笑顔で喜んでくれる姿を見て実施したかいがあった、と心から思えるフェスティバルでした。



日暮れまでにぎわったワンフェス＝当日の打ち上げ花火と合成



キッチンカーや屋台には行列ができた



「キラキラ隊」によるカウントウダンで点灯



ドアを開けると現れた光のトンネル

イルミ点滅 夢世界 つるうち冬のまつり

昨年12月16日に、「第4回つるうち冬のまつり～コミセンキラキラ大作戦～」(主催・弦打校区コミュニティ協議会、つるうちキッズクラブ)の点灯式が開催されました。コロナ禍で実施し、本来なら3回で幕を閉じるはずだったこの冬のまつりでしたが、大好評につき実施する運びとなりました。12月25日まで点灯されました。

今回のテーマは「再開」。高さ9mのツリーや、長さ30mの光のアーチなど、計約3万2千500個のLEDでコミュニティセンターをライトアップしました。点灯式ではダンスイベントやキラキラ隊によるカウントダウンで歓声が沸き起こり、またキラキラ抽選会やキッチンカーの出店など、例年以上に大勢の方が訪れ、会場のあちこち

で写真や動画を撮りながら楽しんでいる様子が見られました。

地域の子どもたちに少しでも笑顔になって欲しいとの思いで、つるうちキッズクラブが中心となり始まった華やかな夢の世界。回を重ねるごとに地域の大人にもその思いが届き、地域全体に温かい笑顔の輪が広がっています。
＝写真は昨年12月16日撮影



光のアーチが弦打コミュニティセンターを彩る。12月16日は強風に揺れるイルミネーションも





勇壮な明見獅子舞で文化祭が開幕



弦打小学校2年生の合奏・合唱



弦打保育所の「せかいにひとつ! ~だいすきなりのもの~」



さわやかダンス同好会のステージ発表

日頃の学習の成果輝く 弦打地区文化祭

地域ふれあい交流事業文化祭(主催・同実行委員会)が昨年10月29日弦打小学校体育館などで開催されました。ステージでは学習発表が、入り口付近ではバザー・フリーマーケット、そしてコミュニティセンター側入り口付近では作品展示が行われていました。

オープニングは勇壮な明見獅子舞、続いてかわいい弦打幼稚園・弦打保育所5歳児の合唱・手話、弦打小学校2年団の合奏・合唱。観客席では、わが子の晴れ姿をカメラに収めるお母さんたちが張り切っていました。

大正琴(郷東自治会)、太鼓、手品(郷東自治会)、舞踊(定木自治会)、舞踊(中津自治会)、ハーモニカとギター(南定木自治会)、ダンス(シスター)という午前中の多彩な出演者たちの熱演に観客席から盛大な拍手が絶えません。

午後は大正琴、コーラス、さわやかダンス、歌謡フラダンス、フラダンス、子どもフラダンスと続き、素晴らしい琴の演奏と情緒豊かな美しい踊りに、みんな、うっとり。

来年も芸術の香りあふれる文化祭、ふれあい交流の場をみんなで盛り上げましょう。



弦打小学校児童の作品



日頃の学習成果が表れた作品発表

地域ふれあい交流事業文化祭では今回初めての賞を設けました。受賞は次の通り(敬称略)。
作品展示
つるピー賞団体 弦打保育所 作品
「せかいにひとつ! ~だいすきなりの

もの~」▽同個人 弦打小学校 上村衣那 絵画「たまごの中は大家ぞく」▽特別賞団体 フラワーアレンジ同好会 フラワーフォトブース「お花の中で写真を撮ろう!!」▽同 絵手紙の会 再生紙を使った絵手紙など▽同

葵クラブ 手まりなど
ステージ学習発表
つるピー賞 弦打小学校2年生 合奏・合唱「この空とぼう」など▽特別賞 さわやかダンス同好会 ダンス「真っ赤な太陽」など



空高く玉が舞ったディスタンス玉入れ



年齢を問わず点数を競った輪投げ

絆深め 元気いっぱい

弦打校区大運動会

快晴の昨年10月15日、弦打校区大運動会が万国旗はためく小学校運動場で開催されました(主催・弦打体育協会、共催・弦打校区各種団体)。ラジオ体操、キッズクラブEX体操、防災クイズ、ジャンケン王は誰だ、ディスタンス玉入れ、シーガルススポーツクラブ、さかな釣りゲーム、はじめてのお使い、綱引き、輪投げ、バドミントンスポーツ少年団、障害物

競争、ジャンボバトンリレー、ホールインワン、フライシートリレーなど、緩急テンポよく進行して、予定通り午前中で全てのプログラムを終了しました。

会場の設営、競技用具の準備など、主催者側のご苦勞には感謝します。

この日、参加した人たちは、老いも若きも、元気いっぱい競技を楽しみ、大満足で帰路に就いていました。

自治会対抗種目の1位は次の通り。

ディスタンス玉入れ 鶴市西団地自治会▽輪投げ 相作自治会▽ホールインワン 中津自治会



力を合わせて頑張った綱引き

普通救命講習会 弦打体育協会主催で「普通救命講習会」が、昨年7月23日に行われました。各自治会の体育部長などが参加して、応急手当や心肺蘇生法、AEDの使い方などを高松西消防署員から学びました。大切な人、家族の命を守るため真剣に取り組んでいました。



コミキャラ集合 高松市内のコミュニティキャラクターが勢ぞろい。仏生山交流センター周辺で「コミフェス2023」が11月3日に行われ、弦打校区の「つるピー」など、地域コミュニティ独自のキャラクターがイベントを盛り上げていました。



いきいき人生

～輝くシルバー世代～ 第12回

師走に弦打コミュニティセンターで開かれている子ども将棋教室を訪ね、楽しそうに子どもたちに将棋を教えている弓場さんからお話を伺いました。

弓場さんは昭和8年、奈良県大和高田市の生まれ、幼少期は父親の転勤で明石、釜山、そして6歳の頃には満州営口に移りました。太平洋戦争の戦況が厳しくなった昭和19年3月に奈良に帰り、その1年後終戦を迎えました。戦後は退職した父親とともに一家は北海道おけとちようの置戸町（北見市の西方）の街から8きも山奥のクマ

ゆみ ば のぼる
弓場 登さん(91)

高松市飯田町南定木

が出るような開拓地に入植し10年間、麦、ジャガイモ、甜菜、小豆、ハッカなどを作り農業に従事しました。そこでの生活は大変厳しく高校にも行けなかったため、22歳のとき独学で大学入学検定試験に合格、広島大学水産学部に入學し、広島市で1年半、学部のある福山市で2年半暮らしました。

昭和34年4月、高松市に水産専門の職員として就職し、高松に住むことになり、飯田町の南定木には50年前から住んでいます。市役所では真珠やノリなどの養殖を支援する水産、騒音や悪臭対策、そしてごみ処理の仕事をしました。54歳のときに退職し、野菜作りなどの中、60歳から8年間、高松市シルバー人材センターにも勤めまし

子どもに将棋を教え、野菜作り



た。これまで、父親の教え「人に頼らず自立して、勤めても出世を考えず友達との良い関係を作る」を基本に生きてきました。高松に住んで65年、弓場さんの香川の印象は、気候が温暖で雨が少ないものの災害がほとんどないこと、そしてうどんがおいしいことなどから大変気に入っているとのこと。

南定木では近所で畑を確保し、年間を通してレタスやほうれん草、ジャガイモなど多くの野菜作りを続けています。また、黒豆作りでは薬剤を使わず、朝夕手で虫を取っています。

最近では下校中の小学生から声を掛けてくれるのが楽しみの一つになっています。

将棋は独学の中、18歳の頃に北見の新聞社主催の将棋大会で優秀な成績を収め初段と認められたのが始まりです。40年程前から高松西部地区囲碁・将棋大会に出場するなどしています。20年ほど前に弦打コミュニティセンターから子どもたちへの将棋と囲碁の講師を依頼されました。今ではコミセン講座としては子ども将棋教室のみを行っています。

純粋な子どもたちとの交流や将棋は認知症予防に大いに役だっています。

(担当・川崎正視、川股啓護、串田悦子)



着衣泳教室 小学生らが参加して「着衣泳教室」が行われました。昨年5月29日、弦打小学校プールなどで、日本赤十字社の指導員から着衣や持ち物の浮力を生かして、水難事故から自分の身を守る技術を学びました。主催は日赤奉仕団弦打分団、つるうち婦人会。



デリバリーアーツ2023コンサート 昨年12月17日、弦打コミュニティセンターで高松市主催の「デリバリーアーツ2023～サクソフォンとマリimbaによるユニット～ ile isolée (イル イゾレ) コンサート」が開催されました。若い2人による素晴らしい演奏で、会場が大いに盛り上がりました。



コミセンにウォーターサーバー 昨年8月1日に、弦打コミュニティセンター1階ロビーに給水機(ウォーターサーバー)が設置されました。ご利用の際には「マイボトル」の持参が条件ですが、口当たりの良い温水、冷水、常温水をお飲みいただけます。



「制服リユース事業」(左端・中央)、「幼稚園びかぴかデー」(右端)の様子

保健福祉部会

地域の支え合い大切に

多くの事業を実施、支援

弦打校区コミュニティ協議会保健福祉部会は、弦打地区民生委員児童委員協議会、弦打地区社会福祉協議会、弦打地区保健委員会、障がい者の会、弦打小学校PTA、弦打幼稚園PTA、弦打保育所あゆみ会、つるうちキッズクラブ、そのほか地域の有志により構成されており、毎月(8月、12月を除く)第3火曜日午後7時から定例会を開催し、参加所属団体の情報交換や地域の中でのつながりについて話し合っています。

主な活動内容は、保健福祉事業の推進として自治会単位の交流会(高齢者相互交流、世代間交流)の開催支援を通して

高齢者の方が住み慣れた地域で安心して楽しみながら暮らしてできるように、地域全体で支え合うまちづくり活動をお手伝いしています。居場所づくりとして、親子DEつるピー広場や放課後つるピー教室の情報交換、つるうちキッズクラブの行事などの支援をしています。情報発信として、「福祉弦打」への保健福祉事業の紹介や「いきいき人生」(広報つるうち)の取材などを行っています。

また、弦打幼稚園の「びかぴかデー」(年3回)に参加し、園児と一緒に掃除をした後に交流を図っています。そして、今年で3回目となる「制服リユース事業」は、9月~10月に使わなくなった制服を弦打コミュニティセンターで回収し、11月の地区ふれあい文化祭や小学校のバザーで無料配布しています。皆さんにとっても喜ばれています。

色々な行事や事業を通して、地域の皆さんが少しでもつながりが持て、安心して暮らせるように活動していきたいと思っております。

大規模地震を想定、防災訓練

消防署員からAEDの使用方法を学ぶ



多くの商品が並ぶ非常食コーナー



弦打校区自主防災訓練が昨年11月19日に行われました。大規模地震を想定して、住民らが弦打小学校体育館に参集し、①避難所の安全確認②避難所の開設③情報伝達④資機材使用⑤避難所スペースの設置⑥避難者の受け入れ—などの訓練を実施しました。高松市西消防署、高松市消防団弦打分団などの協力で主催・弦打校区コミュニティ協議会(防災部会)、弦打校区自主防災会連絡会。



指定避難所の弦打小学校体育館での防災研修

この広報誌に関する配布のお問い合わせは
広報誌配布センター

☎0120-030-702

FAX087-883-6539